

山陽町オートレース事業の活性化について

平成15年10月1日

山口県山陽町

1. 事業の沿革

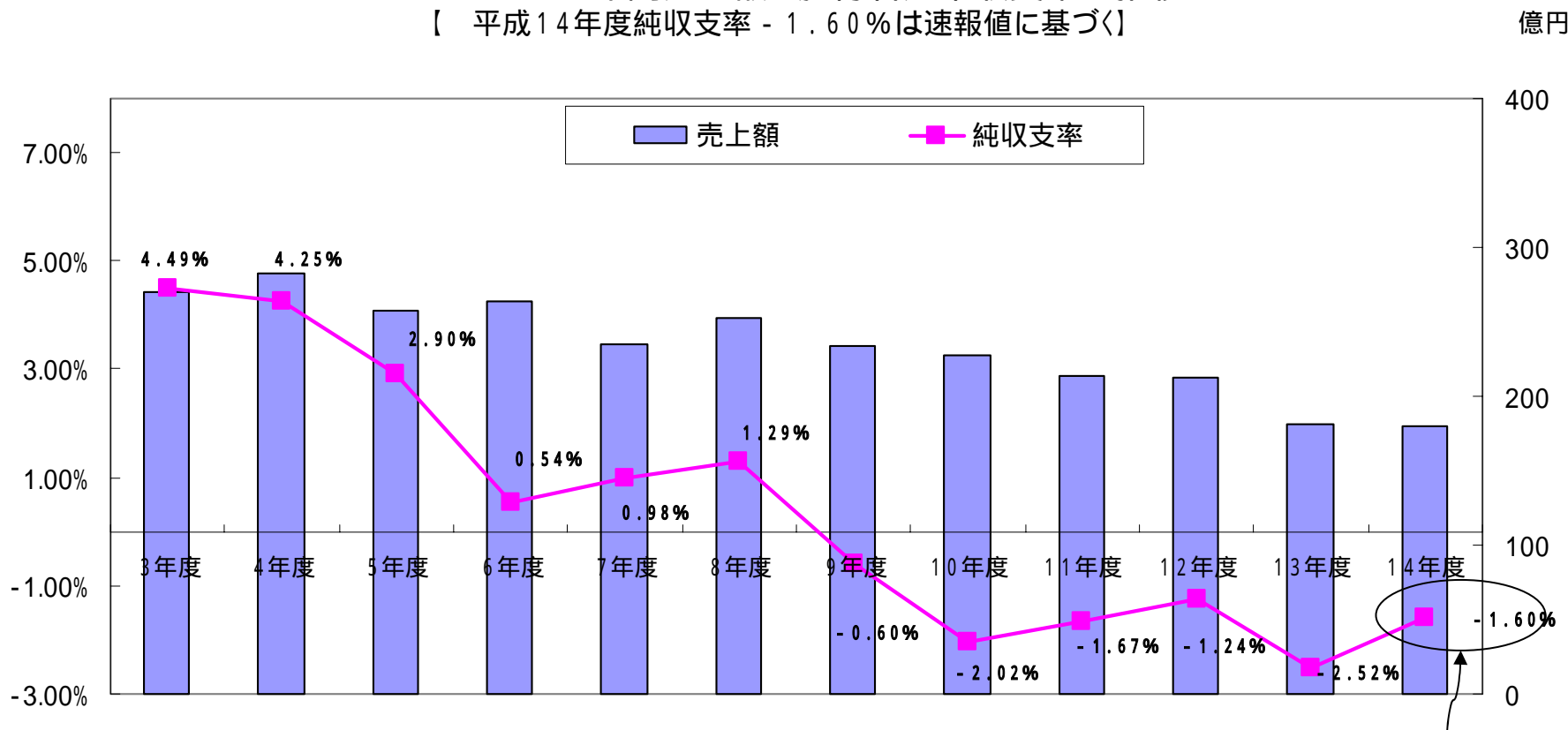
昭和33年 9月	通産省へ山口県柳井市オートレース場の移転設置承認申請書を提出
昭和40年 4月	山陽オートレース場開場
昭和40年 8月	第1回スピード王決定戦開催
昭和44年 8月	全日本オートレース選手会山陽支部設立
昭和45年 8月	施設会社の株式取得を決定
昭和46年 4月	山口県小型自動車競走会設立
昭和47年 3月	第6回日本選手権オートレース開催
昭和59年11月	第16回日本選手権で場外発売(川口場、伊勢崎場)を実施
昭和62年10月	第1回若獅子杯争奪戦開催
平成元年 6月	第1回平成チャンピオンカップ争奪戦(開場24周年記念)開催
平成 6年 6月	センターホールオープン
平成 7年 2月	ハイビジョンホールオープン
平成14年 2月 3日	オート界初新賭式「3連単・3連複・ワイド」の発売開始

2. 山陽オートレース事業の収支

(1) オートレース事業を総合的に見ていく

オートレースの年間売上額と施行者経常収支率の推移

【平成14年度純収支率 - 1.60%は速報値に基づく】



売上げ	売上額 (百万円)	前年比
3年度	27,062	-
4年度	28,311	104.62%
5年度	25,796	91.12%
6年度	26,381	102.27%
7年度	23,455	88.91%
8年度	25,312	107.92%
9年度	23,423	92.54%
10年度	22,788	97.29%
11年度	21,369	93.78%
12年度	21,232	99.36%
13年度	18,096	85.23%
14年度	18,043	99.71%

純収支	収支額 (百万円)	収支率
3年度	1,216	4.49%
4年度	1,202	4.25%
5年度	748	2.90%
6年度	143	0.54%
7年度	231	0.98%
8年度	326	1.29%
9年度	-142	-0.60%
10年度	-461	-2.02%
11年度	-358	-1.67%
12年度	-264	-1.24%
13年度	-456	-2.52%
14年度	-290	-1.60%

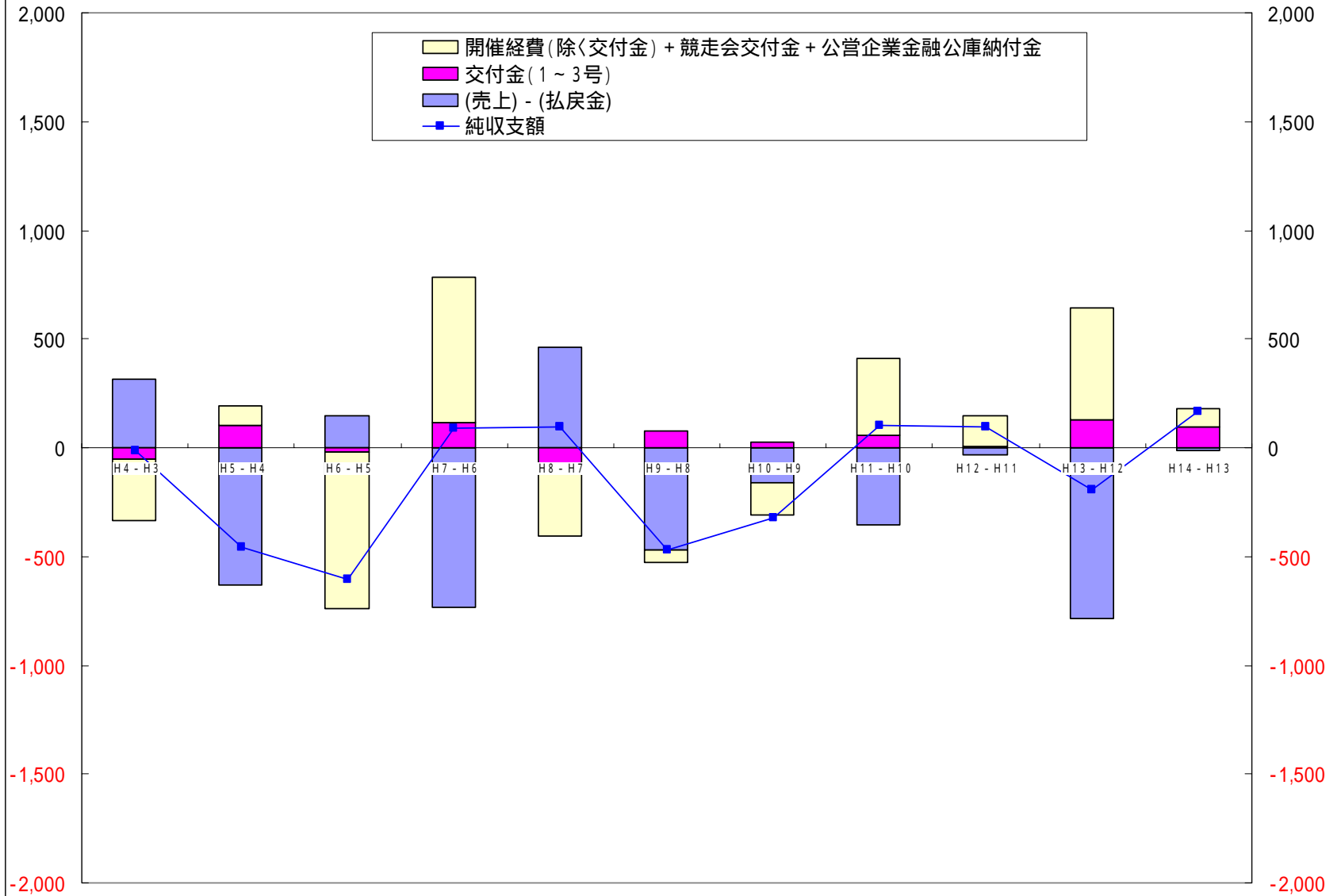
速報値

(場外受託収入を含む)

収支の対前年度比(要因分析)

百万円

百万円

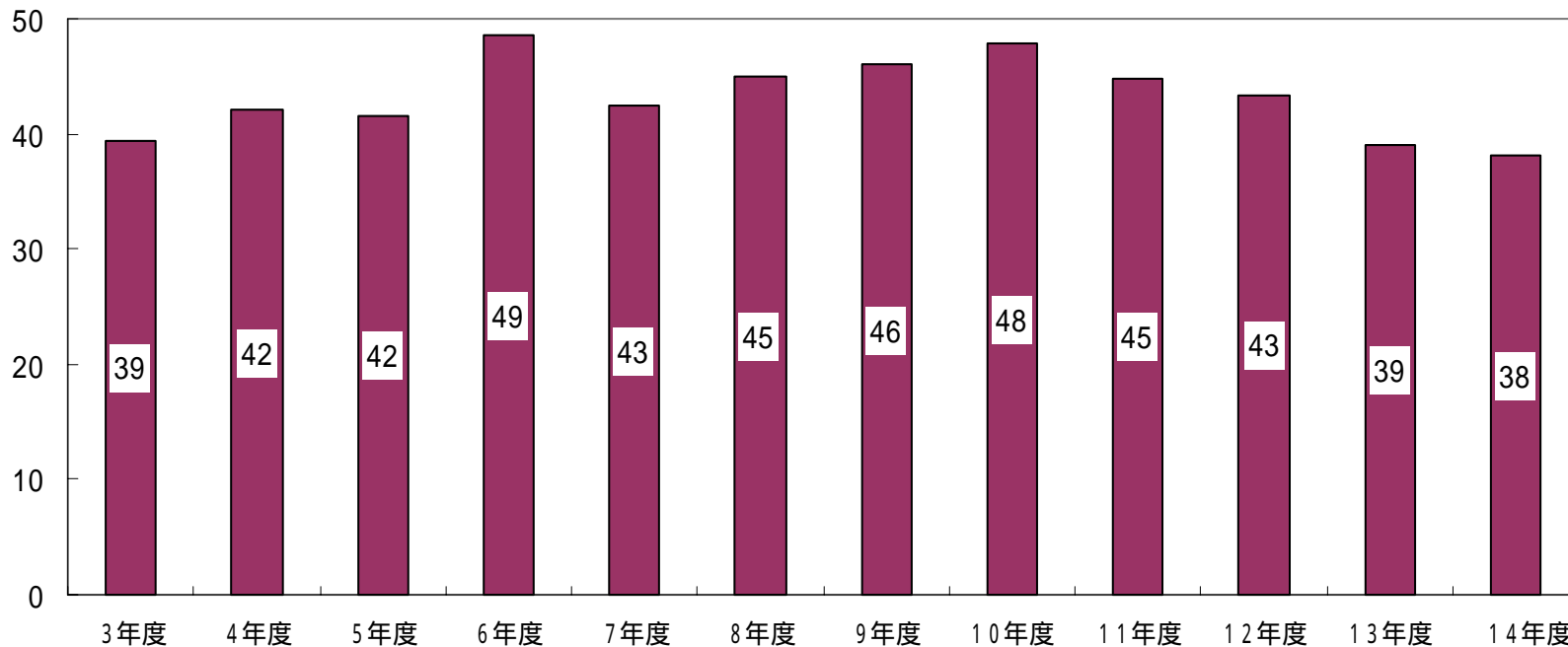


(場外受託収入を含む)

オートレースの開催経費額の推移

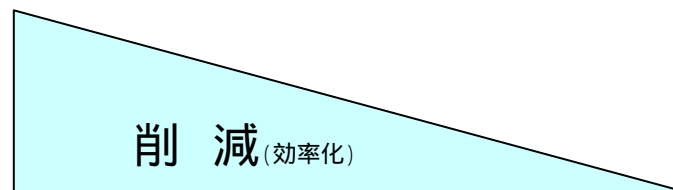
【平成14年度は速報値に基づく】

億円



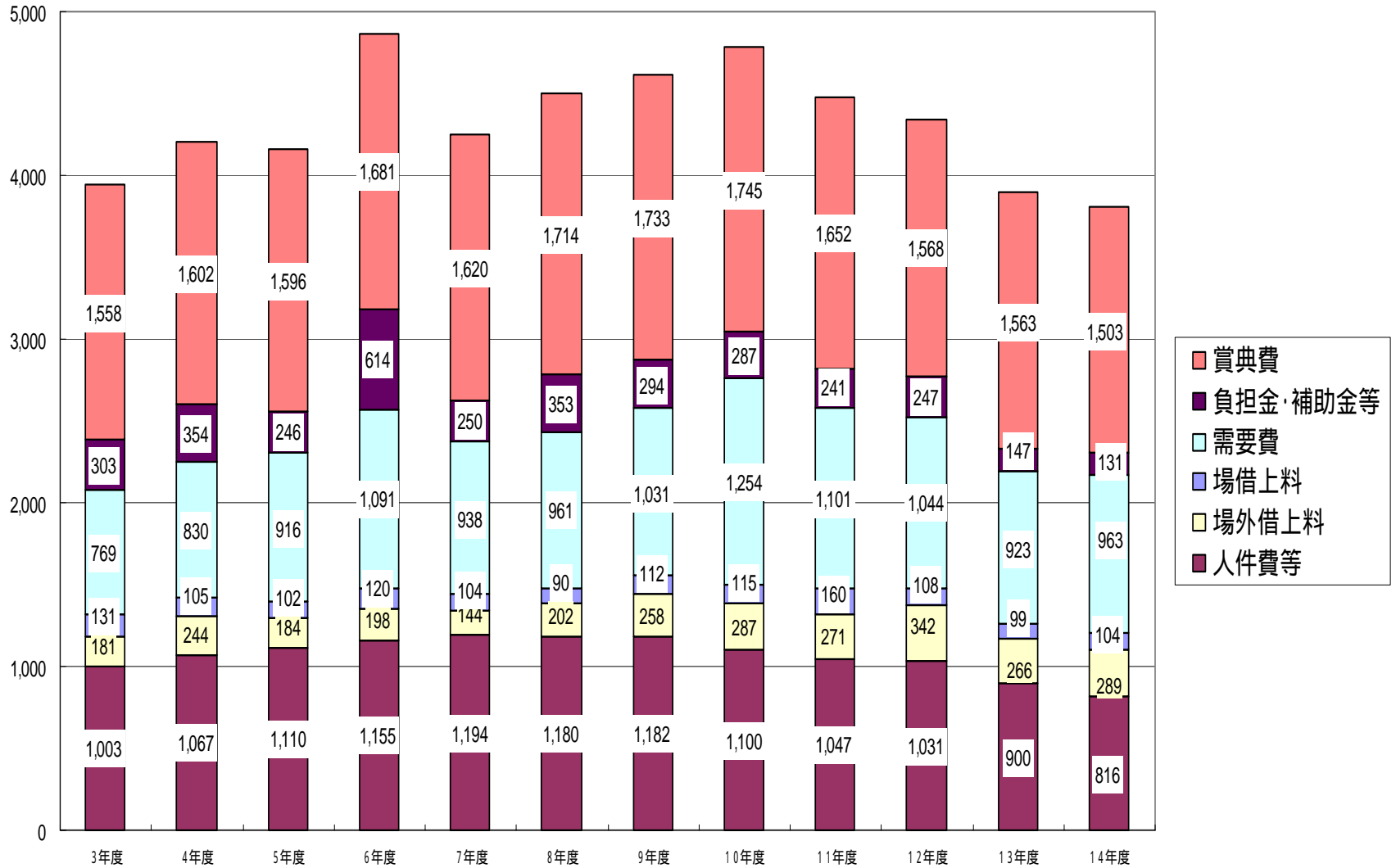
開催経費	
	開催経費額 (百万円)
3年度	3,945
4年度	4,201
5年度	4,154
6年度	4,860
7年度	4,250
8年度	4,501
9年度	4,611
10年度	4,788
11年度	4,473
12年度	4,340
13年度	3,898
14年度	3,806

平成14年度は速報値



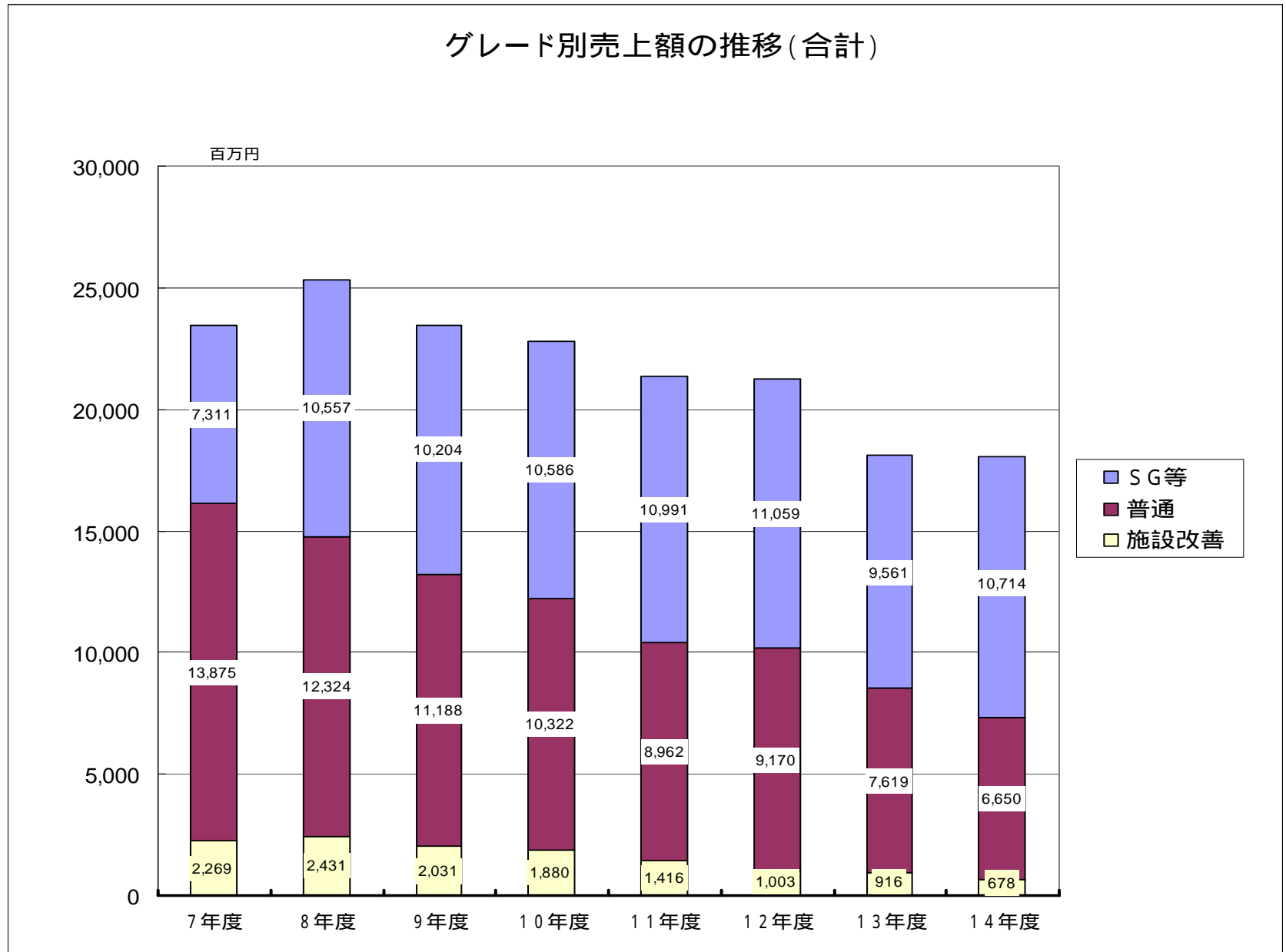
開催経費額内訳の推移

百万円



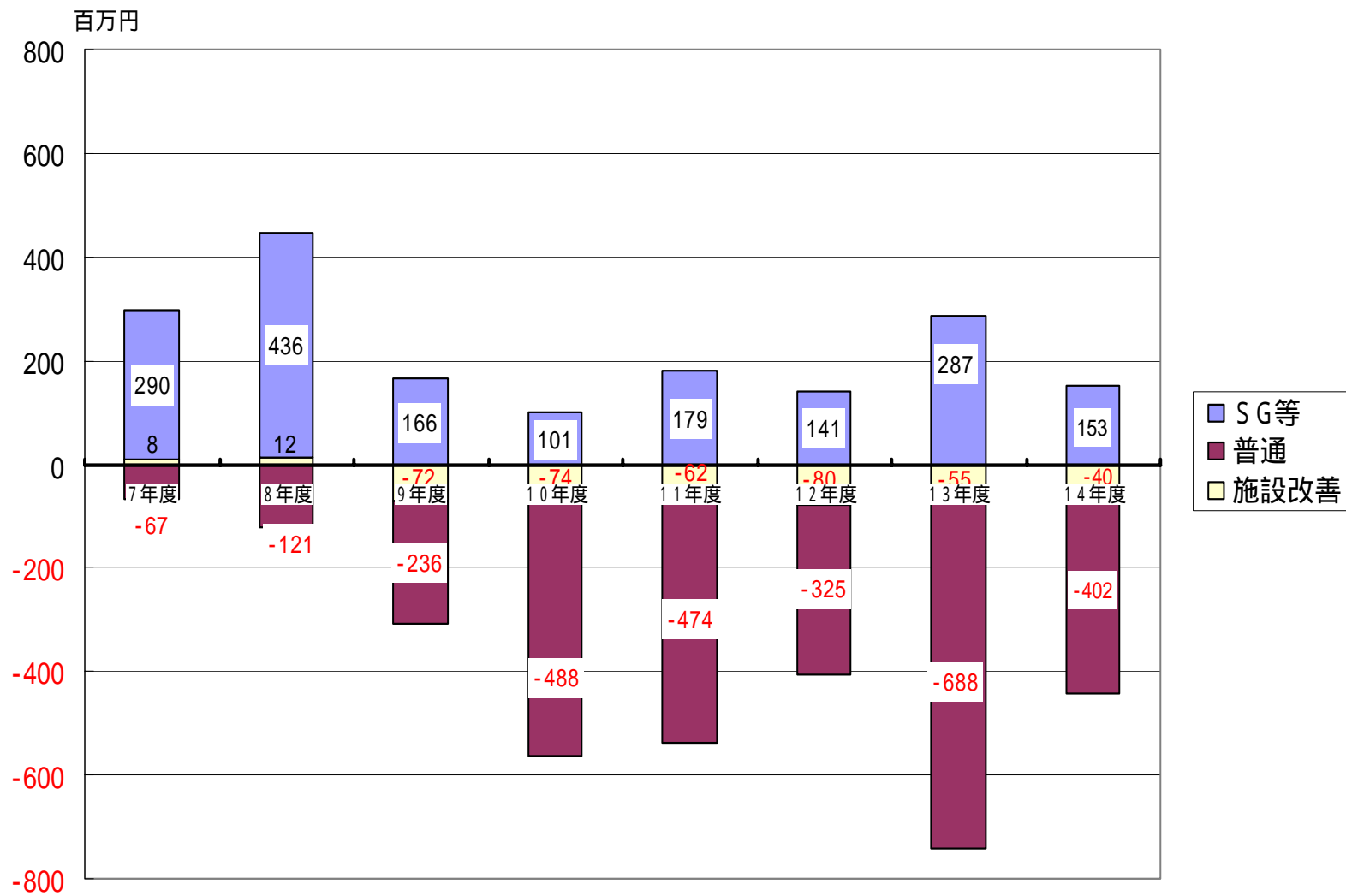
(2) オートレース事業をグレード別に見ていく

* グレード別集計は平成7年度より開始



* グレード別集計は平成7年度より開始

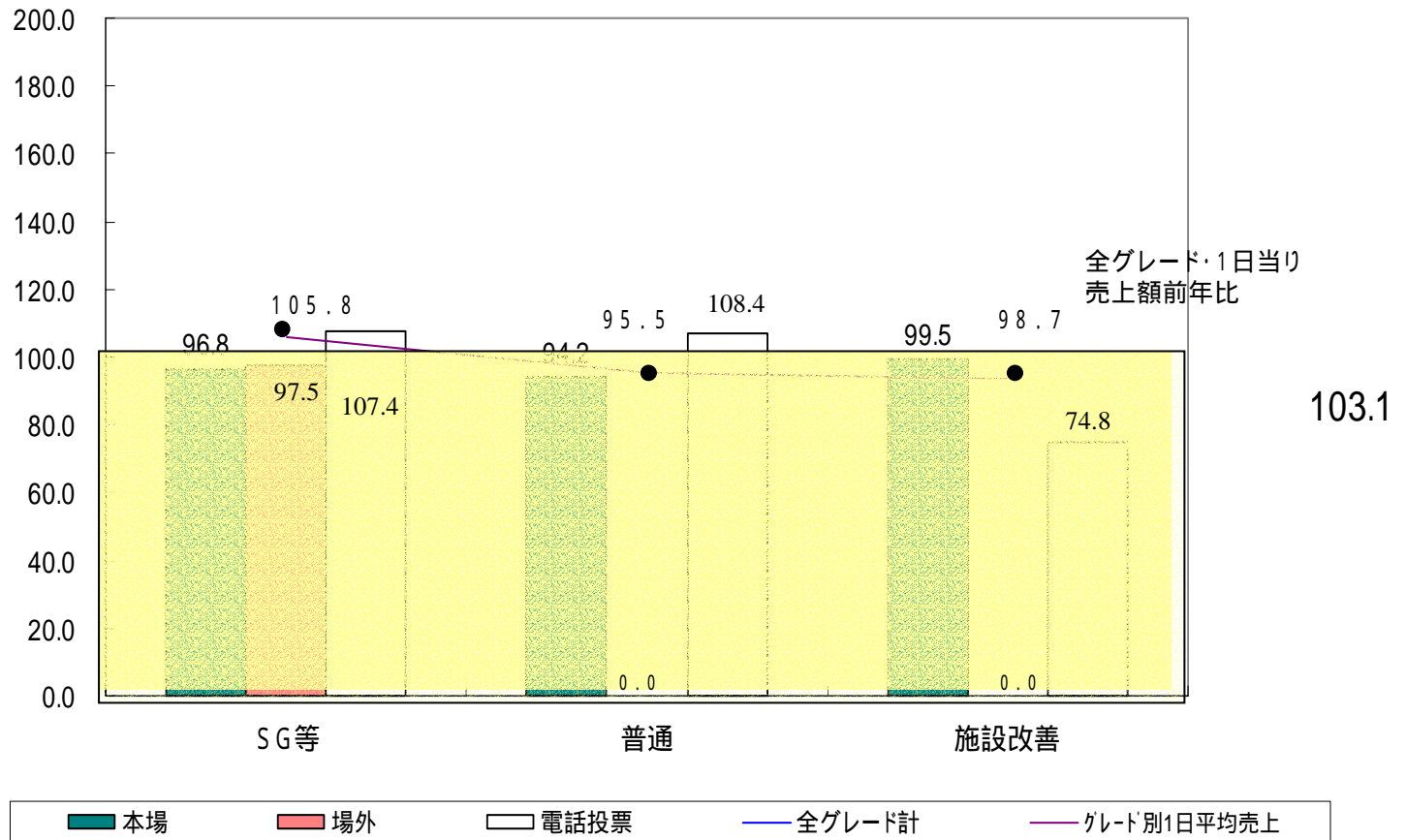
グレード別純収支額の推移(合計)



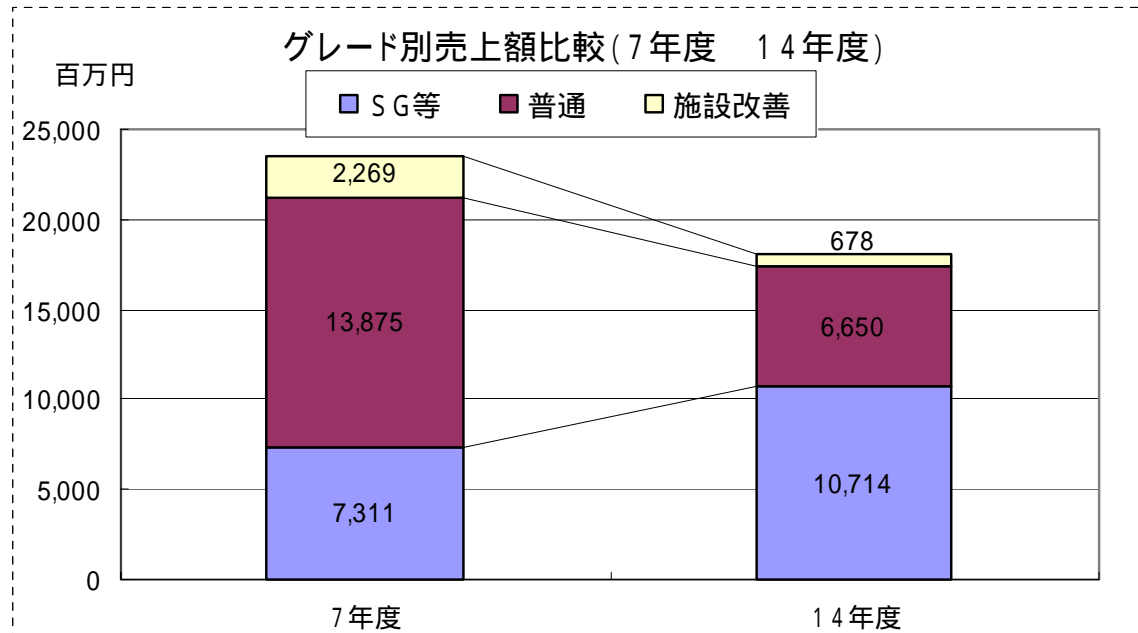
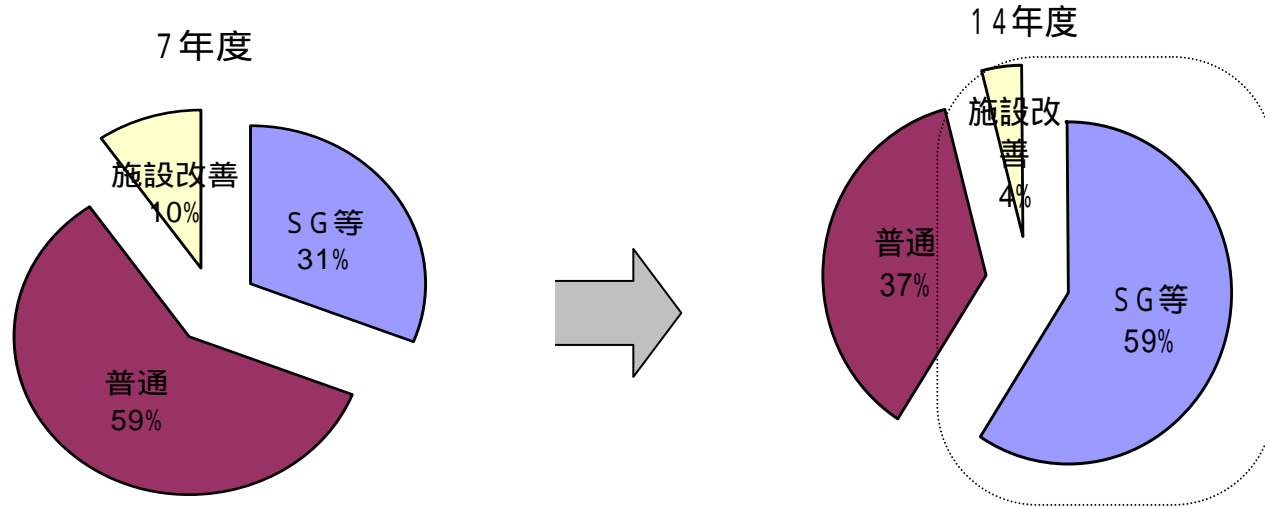
(場外受託収入を含む)

グレード別チャンネル別1日当り売上額前年比

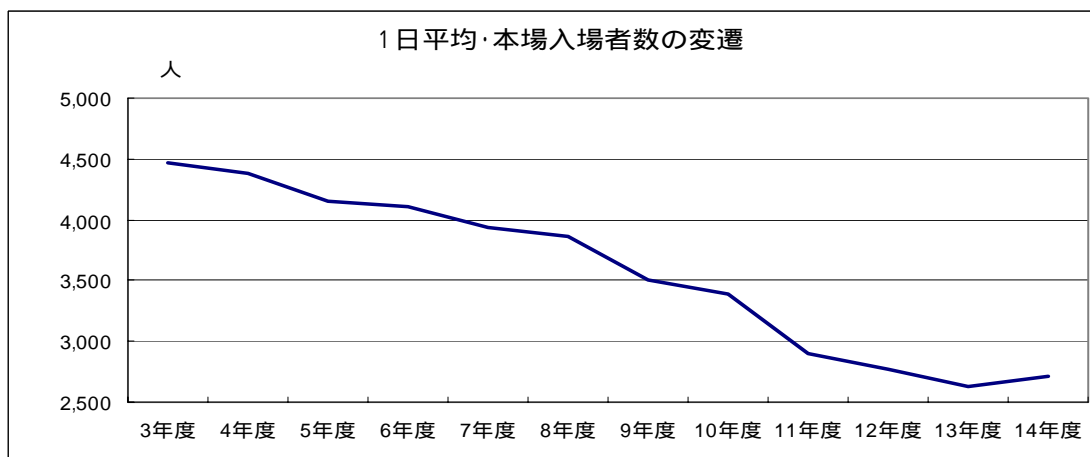
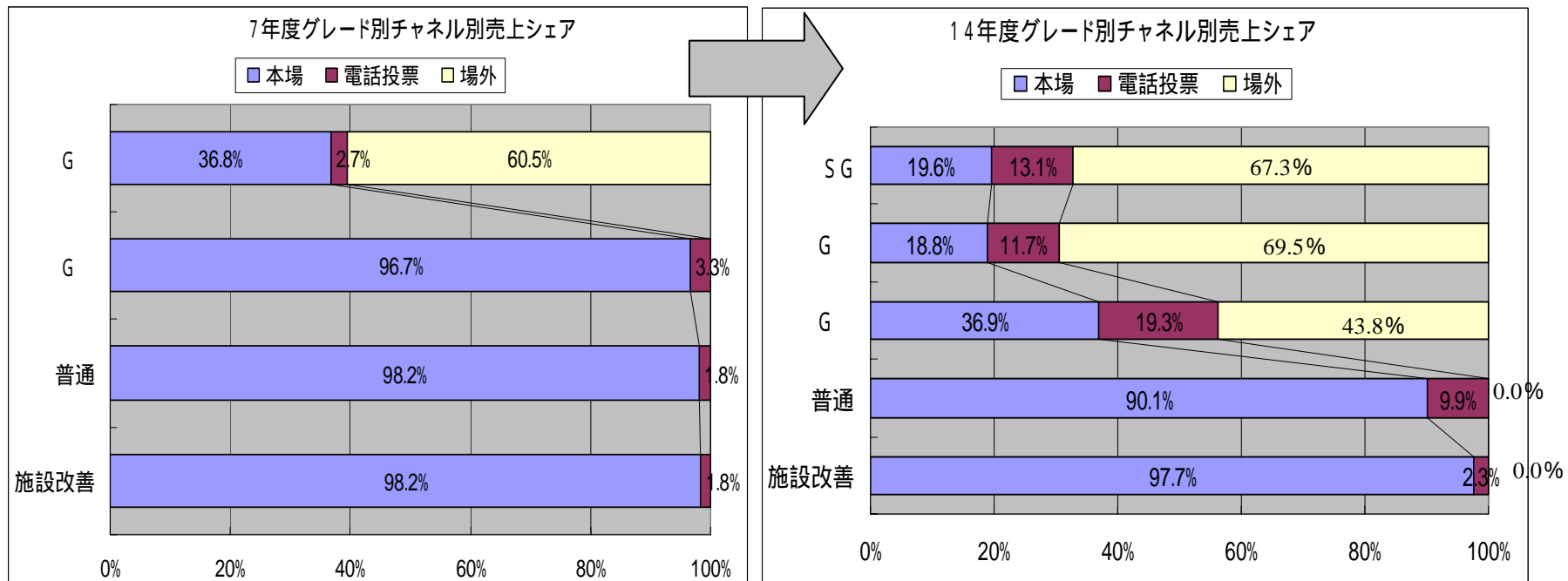
【「H14.4～H15.3」と「H13.4～H14.3」との比較】



売上構成の変化・グレード別(平成7年度 平成14年度)



売上構成の変化・グレード別チャネル別(平成7年度 平成14年度)



3. 活性化に向けた取組について

(1) 競技内容・アピールについて

個人冠レースの定着化

入場者数を増加させることを目標に、既存ファンから新規ファンへのアプローチ、及びかつてのファンの呼び戻しのための一方策として、個人冠レースを実施、定着化に努める。

- ・『ATUSIバースデーレース』(2月16日11R実施)
- ・『ボクスター1メモリアル』(5月3日11R実施)
- ・『ICEBAR・Jr CUP』(9月21日11R実施)

町内企業対象冠レースの定着化

現行の関係業者対象の冠レースに加え、町内企業とタイアップし、CS放送により、町内企業の情報発信を行う企業杯の充実、定着化に努める。

- ・寝太郎焼酎杯争奪『山猿バトル』(5月25日～27日)
- ・帆万里杯争奪『汐さいバトル』(6月1日～3日)

地域福祉祭りとファン感謝デーの共同開催

- ・レース場を地域に開放するとともに、地域住民を巻き込んだイベントの開催(第1回コミュニティーフェスタin山陽 平成14年11月17日開催)

第2回 平成16年3月中旬実施予定

番組の工夫

- ・オート界初の級別ハンデレースの実施
- ・10月19日～21日(施設改善レース)で実施予定

3連単の場間場外発売(下期の若獅子杯・スピード王)の実施

- ・新賭式導入場間(川口場、飯塚場予定)で、場間場外発売を実施予定

企画レースの充実(対抗戦)

- ・船橋対抗戦(上期実施済)、飯塚対抗戦(上期・下期で実施)を実施予定

女性客をターゲットとした取組

- ・女性客に的を絞ったファンサービス(女性客限定ラッキーカード等)
- ・ネイルアート、サイドカー同乗サービス、花束プレゼンターの実施(スピード王決定戦で実施予定)

(2) 広報の方法

CS放送の放送日数拡大

- ・7月27日から既存の216チャンネルに加え、240チャンネルで、山陽オートの全レースを実況中継

CS放送における情報協会会員、及び選手の活用

- ・情報協会(予想屋)の会員をCS解説者、及び選手をプレイヤーズゲストとして、CS放送で活用

新聞折り込みによる、開催告知

- ・開催告知のPRについて、現行のスポーツ紙に加え、一般紙の新聞折り込み広告紙による宣伝の実施

オフィシャルホームページによる情報発信

- ・新たに、ホームページを立ち上げ(7月20日)、全国に情報を発信(現在約16,000人がアクセス)

インターネットによるレース実況中継の実施

- ・若獅子杯争奪戦(10月4日～8日)、及びスピード王決定戦(12月13日～17日)にて、インターネットによりレースの実況中継を実施予定

モータースポーツ界への宣伝計画

- ・山口県美祢サーキット場におけるオートレースの宣伝検討

(3) 開催日程等

- ・下期普通開催における日曜・祝日決勝(従前は日、月、火)の実施予定

(4) 販売チャネル

場内施設の整備

- ・コインゲートの設置
- ・指定席待合所の改修(屋根の設置)
- ・ファンの動線を考慮した場内設備の配置(手荷物預かり所等)
- ・消防設備(スプリンクラー)の整備

場間場外発売の拡大

(5) 運営体制

従事員賃金の見直し・出勤調整の実施等

- ・基本賃金の引き下げ(10.1%の削減)
- ・退職見舞金の見直し(9.1%の削減)
- ・出勤調整の実施(年度6日の出勤調整)
- ・一時金の削減(前年比53.3%の削減)
- ・その他各種手当の削減

基本賃金の引き下げ等、平成15年6月21日から実施

事務所の移転

- ・事務の効率化等のため平成15年4月1日からレース場内に事務所を移転

発売体制の見直し(入場者数・売上に応じた体制)

- ・100窓・200人体制の確立

各種開催経費の削減(委託料の削減)

- ・各種開催に伴う委託料(投票業務保守委託料、開催業務委託料、出走表配送業務委託料、清掃業務委託料など)の10%削減実施